



小人の少女アリエツキは、両親と一緒に人間の家の床下に暮らしています。決して人間に存在を知られてはいけないうまい…。

☆☆☆
『床下の小人たち』
マリア・ノルト//作
岩波書店

兄弟の中で一人だけ勉強ができない秀一は、母親からきびつもりで小型トラックの荷台に乗りこまされたが、トラウマが走り出し、予想外の展開に！
しい小言をいわれ、家出を決意します。ちよとかくれる

☆☆
『ほかがほくであること』
山中 恒//作
岩波書店

ユウスケとミカは対照的な性格のふたごの6年生。ふたりはある日、不思議な生き物”オトイ”を見つけます。果たしてオトイとは！？
ふたりが周りを巻き込みながら子どもからちょっと大人に成長していきます。

☆☆
『ミカ！』
伊藤 たかみ//作
理論社



『若草物語』
ルイザ・メイ・オルコット//作
岩波書店
美しいメグ、活発なジョー、内気でおだやかなベス、おませなエイミー。南北戦争の時代、戦地にいる父親の無事をいのりながらも、助け合い楽しい日々を過ごす四姉妹の物語。

☆☆☆



☆☆☆
『赤ちゃんのはなし』
マリール・ホル・エツツ//ぶん・え
福音館書店



☆☆☆
『いいんがことかあります！』
魚住 直子//著
偕成社
お母さんに、自分の意見をうまく伝えられない陽菜子。ある日、とっぜん現れた“スージー”と名のる女の子が落とした手帳を拾ったことがきっかけとなり、陽菜子の気持ちに少しずつ変化が起きてきて…。

☆☆☆
『ふくろ小路一番地』
イーヴ・ガーネット//作
岩波書店
ふくろ小路一番地に住むラッグルスさん一家は、おかみさんはせんたくや屋、だんなさんはごみ屋で、7人の子どもがいます。いつもゆかいな事件が絶えない、にぎやかな家族です。

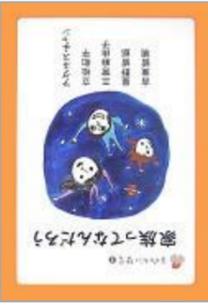


☆☆☆
『盆まねき』
富安 陽子//作
偕成社
毎年8月になるとなっちゃんの家は、おじいちゃんおばあちゃんの家へ出かけます。親せきがみんな集まって、仏だんに手を合わせます。それからおじいちゃんやおばあちゃんの思い出話が始まります。ところが今年は、ちょっとふしぎなことが…。

夏休み、林間学校に行ったルイゼは、自分とそっくりな少女ロッタに出会います。実は、二人は離婚した両親に別々に育てられたふたごの姉妹だったので。二人は両親を仲直りさせようと計画を立てることにしました。



☆☆☆
『ふたりのロッタ』
エーリヒ・クストナー//作
岩波書店

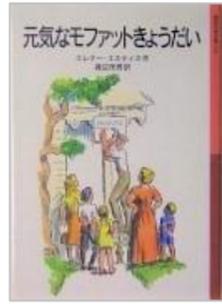


☆☆
『家族ってなんだろ？』
アグネス・チャン
ほかに著
佼成出版社

いるんがことかあります！のかたち

～テーマ別ブックリスト～ かぞくっていいね 【5・6年生】

『元気なモファットきょうだい』
モファットきょうだい物語 1
エレナー・エスティス//作
岩波書店
(シリーズあり) ☆☆☆



『百年の家』
ロベルト・インノチェンティ//絵
J.パトリック・ルイス//作
講談社 ☆



豊岡市立図書館

(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

『日本の家』
織田 憲嗣//さく
福音館書店 ☆



『寺町三丁目十一番地』
渡辺 茂男//作
福音館書店 ☆☆☆



読んだ本の☆をぬってみよう!
いくつぬれたかな? コ
2022.3 発行

男の子を引き取るはずだったマッシュとマリウのもとに
まらちがって連れて来られたのは、赤毛でおしやべりな
女の子。想像力豊かで前向きなマッシュは、マッシュ・エドワ
ード島の豊かな自然の中で大人へと成長していきます。

☆☆☆
『赤毛のマッシュ』
モンゴメリ//原作
村岡 花子//訳
ポプラ社
(シリーズあり)



☆☆
『チヤーンと月』
村中 季衣//作
小峰書店
親としゃべりよに暮らせない子どもが共同生活を送る「あけぼの園」では、もうすぐ中学生になる美香たちが暮らしていた。そんなある日、新しく園に6歳の女の子“あき”がやって来た。

